

最近の雇用失業情勢（令和8年1月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.25倍（季調値）」（前月から0.02ポイント低下）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月から0.02ポイント低下**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が低下しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は運輸業・郵便業等で増。卸売業・小売業等で減。

[新規求人数]

当月：4,923人 卸売業・小売業等の減員等により－455人
（前年同月 8.5%減）

[産業分類別]

○「増」（対前年同月比）

【運輸業・郵便業】当月：263人 前年同月：+27人

【公務・その他】当月：509人 前年同月：+46人

【建設業】当月：455人 前年同月：+6人

○「減」（対前年同月比）

【卸売業・小売業】当月：541人 前年同月：－186人

【サービス業】当月：479人 前年同月：－150人

【宿泊業・飲食サービス業】当月：310人 前年同月：－29人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.16倍 前年同月：－0.20P

【米子所】当月：1.44倍 前年同月：－0.10P

【倉吉所】当月：1.79倍 前年同月：+0.32P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.13倍（16か月ぶりに前年同月を下回る）
→全国指標1.04倍（6か月連続で前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：2,080人（前年同月1.5%減）